

第6回部活動のあり方を考えるミニ研究集会

部活動はなんのため？ どこに向かうのか？



2020年9月5日

妹尾 昌俊

教育研究家

合同会社ライフ&ワーク 代表

NPO法人まちと学校のみらい 理事

senoom879@gmail.com

<https://news.yahoo.co.jp/byline/senoomasatoshi/>

自己紹介 妹尾 昌俊



- 徳島県出身(いなかの公立小中高で育つ)、神奈川県在住。
趣味は歴史もの(戦国うんちく、旅、ゲーム)、海でSUP。
- 小学生～高校生、プラス0歳児の5人の子育て中。
- 全国各地の教育現場を訪問して、講演・研修、取材を行っています。
たまに校長、教育長等のご相談にのったりもしています。
- 京都大学大学院(行政学)修了後、野村総合研究所を経て、2016年から独立。
2019年から法人化し、ライフ&ワークを設立。
- 中央教育審議会「学校における働き方改革特別部会」委員、
スポーツ庁と文化庁で部活動ガイドライン検討会議委員、
教育委員会のアドバイザー(横浜市、四日市市、埼玉県、宮崎県など多数)
岐阜市公教育検討会議委員 などを歴任。
- Facebook、Twitter、Yahoo!ニュースオーサー(解説記事を書いています)は
妹尾昌俊で検索。お気軽に感想、メッセージなどお願いします。

【妹尾の著書の紹介】本を読むのも、書くのも好きです！



ぼくの原点。
元気な学校は何が
ちがうのか。



ビジョンは思った以上に浸透していない。
学校の戦略づくりとコミュニケーションを考える。



多忙の実態を豊富なデータで解説。
働き方改革の基本方針と具体策を提案。



ケースメソッド方式でモチベーションや業務改善について、とても具体的に考えられる一冊。

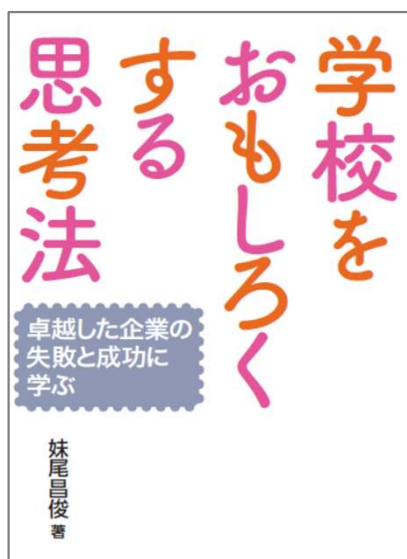


わくわくする学校事務に挑戦する6人のプロたちの仕事への姿勢や仕事術を分析。事務職員の学校運営への参画を具体的に考えていける本。



働き方改革の教科書。学校や教育委員会が行うべきこと、中教審答申とその前後の最新動向を踏まえて解説。

典型的なマズイ事例に陥らないために、どうするか、5大原則を演習問題付きで解説。



企業や行政、イノベーターたちの失敗と成功から、学校や教育行政は何を学べるか。Google、セブンイレブン、スタバ、佐賀県庁など様々な事例を分析。



教師不足、過重労働、社会からの信頼低下など、5つの危機、ティーチャーズ・クライシスを解説。

採用倍率低下は本当に問題なのかなど、データをもとに深層に迫る。

わたしが研修・講演でよく問いかけていること

部活動はなんのため？

- ① そもそも、部活動は**何のため**のものでしょうか？
主たるねらいは何ですか？

- ② 部活動に入っていない生徒については、どうしますか？

- ③ 部活動に大きな意義、効果があるとしても、いまの時間、負担でいいでしょうか？
 - ★教員の負担や24時間をどう使うかという視点から、どうですか？
 - ★生徒の負担や24時間をどう使うかという視点から、どうですか？

友添秀則(2016)『運動部活動の理論と実践』より

(戦後に対外大会の厳格な規制がとられたが、東京五輪前後に規制が緩められてきた過程は)

「競技」と「教育」という対立する論理の葛藤の歴史でもある。そして、**競技の論理が教育の論理を押し切ってきた過程**でもある。

問い 部活動指導のなかで、これは「競技の論理」が強かったかもな、と思うことはありますか？

競技の論理

- ✓ 大会、コンクール等で**勝つ**(入賞する)こと。
- ✓ 「**長く練習しなければ**強くなれない」と信じている人が多い。
- ✓ ただし、プロや専門家のなかには短時間で集中した練習を勧める見解も多い。
- ✓ 監督や指導者の言いなりに、**従わせようとする**“指導”も見られる(全部がそうではないが)。
- ✓ 技術的な指導ができること。
顧問ができない場合は、外部指導者等を雇う。

主要な 目的と目標

活動時間

生徒の自主性、 主体性

指導者の役割

教育の論理

- ✓ 生徒の**人間性や社会性が育つ**こと(挑戦すること、やり抜く力、チームワークなど)。
- ✓ スポーツや文化、科学に**親しむ**こと。
あわよくば、好きになって生涯にわたり楽しんでもらうこと。
- ✓ 長時間練習する必要性は高くない。
- ✓ 児童・生徒の身体の発達状況等に応じて適度な練習量におさえる必要がある(けが、故障、バーンアウトの防止)。
- ✓ 練習メニューの企画、試合の戦術などで児童・生徒の**自主性を伸ばす**ことを重視する。
- ✓ 技術的指導はできたほうがベターだが、必須ではない。
- ✓ 見守り(安全管理)、多少の励まし、課題設定の支援などができればよい。

参考)

札幌市立学校に係る部活動の方針(2019年3月)

学ぶ力を育成するためには、部活動においても「課題探究的な学習」を取り入れることが効果的である。例えば、スポーツ活動では「どうすれば、もっと競技力を高められるだろうか」、音楽活動では「どうすれば、もっとイメージが伝わる表現ができるだろうか」といった課題を生徒自らがもち、「足りない技能を高める新たな練習方法を取り入れてみたらどうだろうか」「仲間とイメージを共有するために、各自がもっているイメージを言葉で伝えあってみたらどうか」など、課題の解決に向けた追究を生徒が自ら行うなどのことが考えられる。

指導者は、「生徒に考えさせる場面」と「教える場面」のバランスのとれた活動を心掛けるとともに、生徒が自ら課題を発見し、主体的に解決を図るプロセスの中で、必要な知識や技能等を身に付け、力を伸ばすことができるよう、生徒が自分で決めることを促し、伸びを認め、取組を支えるように関わるのが大切である。

未曾有の長期にわたる臨時休業を経験して、
学校の役割を見つめなおした人も多いのでは？

あなたは、どんなことを感じましたか？

いまの学校のよさ、役割、弱点など

コロナ禍でよく見えてきたこと

コロナ前からの問題がより顕在化(見える化)してきた！

1. 学校は、勉強する場だけではない。
 - ・(狭義の意味での)教育的な機能・役割
 - ・福祉的な機能・役割 (保護)
 - ・関係をつくり、社会性等を育てる機能・役割
2. 日本の教育は、自律的な学習者を育ててきただろうか？
 - ・ある校長経験者の言葉 「自分で時間割をつくる力」
 - ・大量の宿題をわたしきり、与えるばかりの学校も？
3. 圧倒的なコミュニケーション不足とソーシャル・ディスタンス
⇒ 学校自前主義が強まりつつある？

学校教育の変わらない本質 これまで学校教育が担い育ててきたもの、そしてコロナ禍においても守り抜くもの

コロナ禍においても、臨時休校においても、
多様な子供を誰一人取り残すことなく
(家庭の経済的な状況・地域格差等に関わりなく)
健やかな学び (以下3つの機能) を保障する

③学力保障【**学習的機能**】

◎学習機会の保障

- 学力 (知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力等) 育成のための学校
- 教科指導・授業 (講義・演習、探究・協働、実習・実技等)

②関係保障【**社会的機能**】

◎社会的・人間的な発達・成長の保障

- 社会の形成者としての資質・能力 (協働性・社会性等) の育成
- 学びと生活の共同体 (仲間・時間・空間) ・場・土壌・文化としての学校
- 特別活動 (学級活動、学校行事等)、キャリア教育、生徒指導 等
- 子供同士、教職員等の多様な他者とのつながり・関わり・集団活動・対話・協働 等

①健康保障【**福祉的機能**】

◎安心安全の保障、身体的・精神的な健康の保障

- 安心安全な居場所・セーフティーネットとしての学校
- 養護・保健、健康管理・心理的支援、寄り添い・伴走 等
- 貧困・いじめ等の発見、生活リズム構築、心のケア 等

そのために、学校や教職員は必要不可欠である。
ただし、学校という場と教職員だけに閉じていては保障できない。

部活動の地域移行(部活動指導員の配置、民間委託を含む)で期待される効果

1)子どもにとっての影響

- 学校ではできなかった活動ができる。活動の選択肢が広がる。
- その競技や文化活動の専門性の高い指導を受けられる(指導者によるが)。
- 入退部の自由度が増す(強要されにくい)。
- さまざまな価値観をもつ人との交流(ナナメの関係の構築)のなか、成長できる。

2)教職員、学校にとっての影響

- 部活動指導の負担が減る。授業準備など本来業務により時間とエネルギーを割けるようになる。
- 地域との関係性が強まる。部活動以外でも連携しやすくなる。

3)地域にとっての影響

- 地域のスポーツや文化活動が活性化する。指導者も愛好者も増える。
- 地域のなかでの連帯、関係性、ソーシャル・キャピタルが向上し、部活動以外でも役立つ(たとえば、防災・防犯)。
- 地域人材にとって生きがいや健康につながる。
- 民間企業等にとってはビジネスの活性化につながる。

部活動の地域移行(部活動指導員の配置、民間委託を含む)で想定される問題、課題

1)子どもにとっての 影響

- 学校管理下よりも、子どもにとって**過大な負担**となるケースもある。過熱化するなかで、怪我やバーンアウトを誘発するリスクも。
- **暴力、体罰、暴言**など不適切な行動の被害を受けるリスクがある。
- 家庭の負担が高まり(費用や送り迎えなど)、**一部の児童生徒は参加できなくなる**可能性がある。

2)教職員、学校に とっての影響

- 児童生徒と部活動を通じて**関係性をつくりにくくなる**。
- 教師としての**やりがい**が下がる人もいる。
- 地域との連携・協力がうまくいかず、**もめたりすると、かえって負担は増える**。
- 勤務を離れて、教職員が地域活動として指導にあたることも可能だが、**過労死等のリスクが高まっても、管理・モニタリング**できない。

3)地域にとっての 影響

- 受け皿となる**地域団体等における負担**は増す(安全管理、会計等)。
- 地域ごとの**差が広がる**。受け皿がたくさんある地域とほとんどない地域と。スポーツ、文化活動等が活性化する地域もあれば、停滞する地域も。とりわけ人口減少地域は、子どもの数減少と相まって、魅力減少か？

☆お知らせ☆ オンラインゼミやってます！ご一報ください！ 学校をおもしろくする会

■ 目的、ねらい

- 日本の学校教育について、深く考える場にしたい。単に話を聞いておしまいではなく、参加者の行動変容につながるものにしたい。
- (おこがましい物言いになりますが・・・) 教職員をはじめとする大人たちの思考力を鍛える場や視野を広げる場にしたい。

■ 内容 ～気楽にまじめに話せる場～

- 月2～3回のオンライン交流会
- 拙著『学校をおもしろくする思考法』を素材にした解説と意見交換
- 時事ニュース解説や雑談
- ゲストを読んだミニプレゼンと意見交換
- Facebookグループでのちょっとした交流

■ ご留意いただきたいこと

- 有料です(月会費3千円を予定)。
- **必ず、事前に妹尾までメッセージください**(参加したいですなど)。
- Facebookアカウントが必要になります。



学校をおもしろくする会

プライベートグループ・メンバー121人



+ 招待する

基本データ ディスカッション アナウンス ルーム メンバー イベント その他



妹尾 昌俊さん、その気持ち、シェアしよう

ルーム 写真・動画 タグ付けする

グループ情報

- プライベート
メンバーとグループ内の投稿を見ることができるのはメンバーのみです
- 検索可能
誰でもこのグループを検索できます。
- 一般グループ

アナウンス・3件 [すべて見る](#)

妹尾 昌俊さんがリンクをわけわけしたで。 ...

管理職 - 6月23日 15:35

☆「学校をおもしろくする会」の今後の予定です。みなさん、ご予定ください。

気軽にコンタクトください
ご意見、ご感想、研修会、読書会なども歓迎です～

妹尾 昌俊

senoom879@gmail.com

★Facebook Twitter 実名

★Yahoo! 個人

<https://news.yahoo.co.jp/byline/senoomasatoshi/>

★ブログ: 妹尾昌俊アイデアノート

<http://senoom.hateblo.jp>

★書評サイト Books for Teachers

<http://bookfort.hatenablog.com/>

YAHOO! JAPAN ニュース senoom879 0ポイント
コロナ対策支援制度まとめ

キーワード検索 🔍 + あなたのコメント 購入履歴 ⚙️

トップ 速報 映像 個人 特集 みんなの意見 ランキング 有料

新着記事一覧 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT・科学 ライフ オーサー一覧

日本中の先生たち Be Happy!

妹尾昌俊 Masatoshi Senoo

妹尾昌俊 senoom8masatoshi official site
教育研究家、学校・行政向けアドバイザー senoo.masatoshi
妹尾昌俊アイデアノート～ステキな学校、地域、そして人たち

徳島県出身。野村総合研究所を経て2016年から独立し、全国各地で学校、教育委員会向けの研修・講演などを手がけている。学校業務改善アドバイザー（文科省、埼玉県、横浜市等より委嘱）、中央教育審議会「学校における働き方改革特別部会」委員、スポーツ庁、文化庁の部活動ガイドライン作成検討会議委員、岐阜市公教育検討会議委員等を歴任。合同会社ライフ&ワーク代表、NPO法人まちと学校のみらい理事。主な著書に『変わる学校、変わらない学校』、『教師の魂』、『こうすれば、学校は変わる! 「忙しいのは当たり前」への挑戦』、『学校をおもしろくする思考法』、『「先生が忙しすぎる」をあきらめない』など。4人の子育て中。

記事 107 オーサーコメント 73

記事一覧 1~25/107件 年月で絞り込む ▼

 9月入学は先送りでも、教育問題の先送りはできない
9月入学の拙速な導入は見送られる公算が高くなってきたが、教育現場、学校には先送りが許されない問題が山積みだ。学習の遅れへの対応、子どもの心のケア、教員の過労、大学入試の方針策定などだ。
5/30(土) 11:50

 休校中の「大量の宿題が大変です」をどう考えるか【#コロナとどう暮らす】
「休校中の宿題が多くて困っている、教えることにも限界がある」という保護者からの声がたくさん寄せられています。どう捉えたらよいでしょうか。子どもたちの学習意欲上マイナスになるようではいけません。